



Weekly Report



心のふれあいを求め 和の中から行動を

2001-3-21 第502回例会 NO.11-35 2001-3-28 発行

司会 SAA委員会 杉野志保子 ・出席率 75.61% (31/41)

◎ 点鐘 会長 津守 弘範 3/9 最終訂正出席率 60.98%

◎ ロータリーソング 「我等の生業」
ソングリーダー 吉沢 洋景

・欠席者
猪股 末男・伊藤 英也・菊池 敏・小林 和夫
小泉 博・小坂 一郎・中山 恒武・根本 泰守
佐伯 和廣・小泉 武男・高木 淳光

◎ お客様紹介 会長 津守 弘範

R財団国際親善奨学生 安室可奈子様
青少年交換学生 平川貴美子様
青少年交換学生 山岡 聖子様

・補填 MU
宮本 誠 : 3/19 東京八王寺北 RC

◎ 会務報告 会長 津守 弘範

1、本日例会終了後に、「全員クラブ協議会」を開催します。

◎ 幹事報告 幹事 伊澤ケイ子

- 1、ガバナー事務所に、2001年2月の出席率(88.34%)の報告をしました。来月はもっと出席率をアップできるようにお願い致します。
- 2、事務局のパソコンで、Eメールができるようになりました。メールアドレスをお持ちの方は、どうぞご登録を。
- 3、回覧。お花見例会とゴルフの出欠をお願いします。

◎ ニコニコBOX 親睦活動委員会 村上 久

- ・津守 弘範 彼岸でようやく気候も良くなり、桜の開花もすぐですね。
- ・伊澤ケイ子 安室さん、平川さん、山岡さん、ようこそ。平川さん3/26出発。元気に行ってらっしゃい。
- ・杉野志保子 やっと春ですね・・
大好きな花を見て、ウキウキです。
- ・杉山 英巳 前回の誕生日祝いの花を、ホワイトデーギフトにしましたら、病床の妻に喜ばれました。
- ・大松 誠二 安室さん、卓話頑張ってるね。楽しみにしてますよ。
- ・福島 達也 お久しぶりです。いい季節ですね。
- ・関岡 俊二 福島さん、光河君、卒園おめでとございます。
- ・北村 幸彦 安室さん、卓話楽しみです。
- ・村上 久 安室さん、卓話ありがとう。派遣学生の山岡さん、平川さん、お元気ですか。

【委員会報告】

◎ 出席報告 出席委員長 大松 誠二

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 41名 (出席免除者2名)
- ・出席者数 30名
- ・欠席者 11名

ニコニコ合計 ¥15,000 (累計 ¥963,374)

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局
東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】津守弘範 【幹事】伊澤ケイ子 【委員長】杉山英巳 【副委員長】由井真司
【委員】菊池 敏・北村幸彦・永井峰子・根本泰守・藤原正範

◎ その他 青少年派遣留学生挨拶 平川貴美子様

- ・ 今月の26日に、オーストラリアのメルボルンに派遣が決まりました。オーストラリアには花粉症がないことを祈りますが、日の丸を背負って、頑張って行ってまいりますので、これからもよろしくお願い致します。

◎ プロアマ・チャリティゴルフのお知らせ 北村 幸彦

- ・ 4/23 桜ヶ丘カントリーにて行われます。当クラブでも1組でも多くのご出席をお願いします。

◎ 次年度会務報告 会長エレクト 足立潤三郎

- ・ 3/19 東分区、会長・幹事会議への出席報告。
(足立・加藤・事務局西川の三人で出席)
次年度国際ロータリー、RI会長のリチャードD・キング氏は、カリフォルニア州にあるクラブに所属。弁護士。軍隊の出身でもある。2002年・RIテーマは、「人類が私達の仕事です。」とある。仕事は奉仕であり、そのためには組織を強化しなければならない。よって、会員の増強を強化して、世界の期待に応えたいとのこと。
- ・ また、2750地区の次年度がバナー 加来 浩二氏は、無駄なことはしないことを、長年の経営から学び、ロータリーの日頃の運営にも、金のかからないようにするべきであると述べている。
- ・ また、新しい試みとして、ガバナー月信の廃止を行うとの事。今後は、会長・幹事のみ配布。その代わりに月に一度はガバナー月信をもとに会長が卓話をする。更に、組織の統合・簡素化をすすめるとともに、ホームページの利用をもっと盛んに行ない、ロータリーもIT化をすすめて、PRをしてゆく。
- ・ 次年度より、国際Rセンターの活動が始まる。国際キリスト教大学は、RIの選択によって契約を結び、留学生の受け入れ整備を進めている。次年度は10名、次次年度は20名を予定。学生1人に1人のカウンセラーが必要なため、近隣のロータリアンは協力を。
- ・ 青少年交換留学生のホストファミリーの確保も大切になる。希望者が減っているのに、対策としてクラブ会員以外の方の受け入れも考えている。
- ・ 同額補助金の奨励。
- ・ GSE活動については、活動をもっと盛んにしたい。
- ・ 会員の増強と退会防止を。毎月1名の増強に挑戦して欲しい。年間5名の増強を。
- ・ 全体的に高齢化してきているので、多摩東グループでは野球ができないクラブも多くなっている。

◎ 卓話 「パリ・ルーブル美術館の絵画
その楽しみ方と歴史ツアー」
R財団国際親善奨学生 安室可奈子様

- 1、ルーブル美術館について
- 2、ルーブル所属のイタリア・フランス絵画の紹介
- 3、オールドマスター（19世紀初頭まで）の絵画の楽しみ方

- ・ オルセ美術館と並び、フランスにおいて頂点であるルーブル美術館は、現在の作品数は数十万点にのぼっている。絵画・彫刻・工芸など、すべてのジャンルにわたっていることに、その特徴がある。1か月程度をかけても、充分に見て回れないほどの作品点と規模を持っている。1546年にルーブル宮殿として建築されはじめたが、約300年後の1857年に完成している。もともと初代の王様であるフランソワ1世が、美術品を収集し始めたのがきっかけ。その後、ルイ13世、14世が積極的に芸術を振興したことで、コレクションが充実した。しかし、一般に公開されるようになったのは、フランス革命後の1793年である。この宮殿を美術館として改造し始めたのは、有名なナポレオン1世。20世紀には、1980年代ミッテラン大統領が、大改築を行い、昨年この改築が終了している。現在建物には、大きなガラスのピラミッドがあり、主な玄関として利用されている。地下1階、地上3階で、見たい作品によって、3つの入口が利用できる。

(この後は、スライドで作品を紹介)

【全員クラブ協議会】

司会 幹事 伊澤ケイ子

- ・ 津守会長挨拶の後、クラブ運営検討委員会の遠藤二郎委員長より、経過を報告書に沿って詳細に説明。都合5回の委員会を開催し、多岐にわたる検討作業を実施。提案として、変動する会員数にあわせて徴収する『特別徴収枠』をあげた。
- ・ 上記を受けて、津守会長が理事会の方針として、運営については、大幅な変更は行わない点と上記提案の主旨を是とし、会員の意見をルールに反映させたいと説明。
- ・ また、宮本誠副会長より「クラブ年間収支の構成」についての説明あり。必要不可欠な固定費用と、準固定費用を示すとともに、会員数によって変動する負担額を具体的な数字で示し、会員各位の理解を求めた。

その後、質疑応答があった。

(今週の担当 藤原 正範)